

研究員 の眼

ファイナンシャル・ウェルビーイングについて①

基本的な概念と枠組み

生活研究部 研究員 西久保 瑛浩
(03)3512-1795 a-nishikubo@nli-research.co.jp

1. はじめに

近年、金融界を中心に「ファイナンシャル・ウェルビーイング」という言葉が世界的に注目を集めている。ファイナンシャル・ウェルビーイングは、人々の経済的な豊かさを新たな観点から捉え直そうとする概念で、今後人々やその集まりである組織・地域などの経済状況を把握するための基本的かつ重要なツールとなり得る。

しかし、その定義や枠組みなど、現時点では研究途上の部分が多い概念でもある。そこで本稿では、「ファイナンシャル・ウェルビーイング」についての基本的な情報を整理したい。

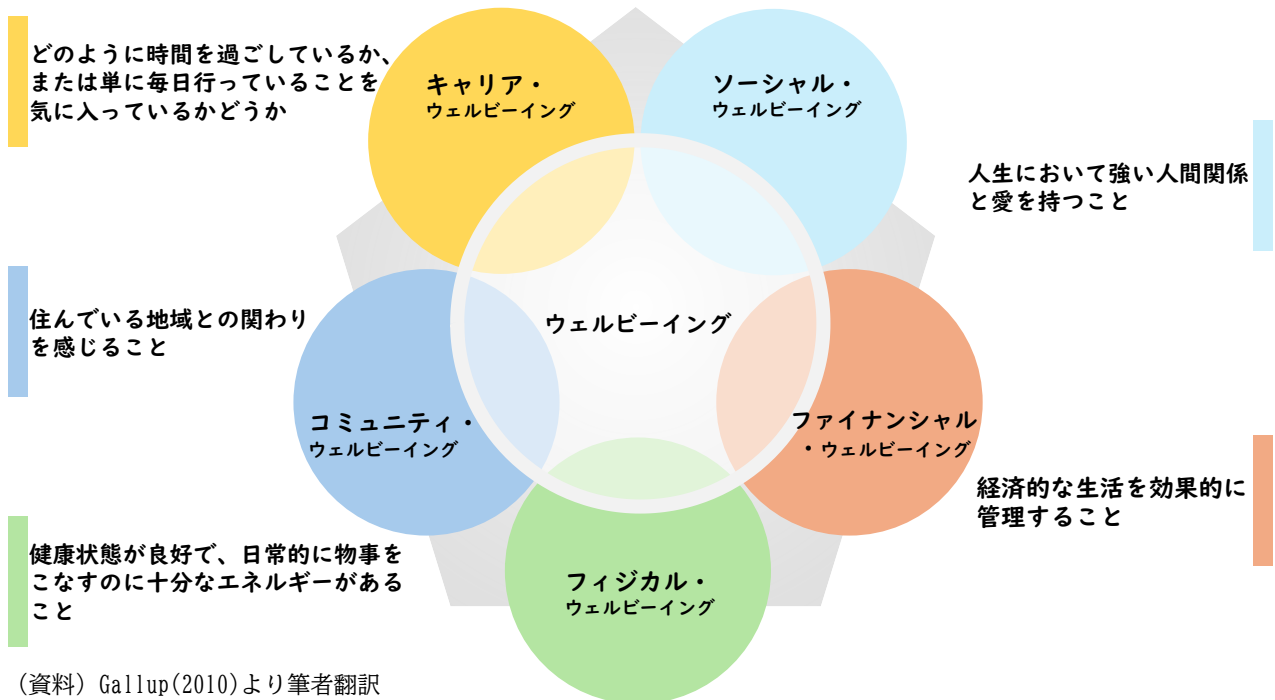
2. ファイナンシャル・ウェルビーイングの定義について

現在、OECD や国連の主導により、世界的に「Beyond GDP」という取組みが推進されている。これは金銭的指標である GDP のみでは測れない人々の認知に基づく豊かさ・幸福度（＝ウェルビーイング）や持続可能性を評価し政策目標化していくというもので、その俎上にあるウェルビーイングの基準作りや計測は国際的な議論となっている。

本稿の主眼であるファイナンシャル・ウェルビーイング（以下「FWB」）は、Gallup(2010)¹によってウェルビーイングを構成する5つの要素の1つとして初めて発表された概念である（図表1）。

¹ Gallup(2010) ”The Five Essential Elements of Well-Being”

【図表1】ウェルビーイングを構成する5つの要素



FWB はその登場以降、人々の経済的な豊かさを評価する新たな指標として注目され、米国の金融界を中心に積極的に研究が行われてきた。日本においても金融庁が「2023 事務年度 金融行政方針について」においてFWBの実現について言及しており、今後国内でもFWBに関する議論は拡大していくものと考えられる。

さて、各国では、FWBはそれぞれ以下のように定義されている。

- 【米国】消費者金融保護局（Consumer Financial Protection Bureau、以下「CFPB」）
「現在および将来の経済的債務を十分に果たすことができ、将来の経済状況に安心感を持つことができ、人生を楽しむ選択ができる状態」²
- 【英国】金融年金サービス局（Money and Pensions Service）
「安心感があり、コントロールできていると感じること。つまり、日々の支払いができ、不測の事態に対処することができ、健全な将来の経済状況への軌道に乗っていると認識していること」³
- 【日本】金融庁
「自らの経済状況を管理し、必要な選択をすることによって、現在及び将来にわたって、経済的

² Consumer Financial Protection Bureau(2015) ”Financial well-being: The goal of financial education” p.18 より筆者翻訳

³ Money and Pensions Service(2020) “UK Strategy for Financial Wellbeing” p.10 より筆者翻訳

な観点から一人ひとりが多様な幸せを実現し、安心感を得られている状態」⁴

まず、FWBを理解する上で最も重要な点は、FWBを含むウェルビーイングが人々の主観によって決まるものであるということだ。これまで人々の経済的な豊かさを評価する際には、収入や資産など客観的かつ物質的な豊かさに着目するのが一般的であったが、FWBは人々が自身の経済状況をどう捉え、どう感じているか、という精神的な要素を含む豊かさを指している。このことは、各国の定義において「安心感」というワードが共通していることにも表れている。

また、時間軸として「現在」と「将来」が挙げられていることも各国の定義に共通する重要なポイントといえる。FWBはある時点の物質的な豊かさではなく、その時点から見た将来までに亘る精神的な豊かさを意味しているのである。

3. ファイナンシャル・ウェルビーイングの構成要素と尺度

それでは、人々のFWBはいかにして測ることができるのだろうか。人々のFWBを測定・評価するためには一般化された尺度を開発する必要であり、またFWBを構成する要素を整理する必要がある。

CFPB(2015)は、米国の現役世代と高齢者を対象としたインタビュー調査および専門家によるディスカッションから、前述のFWBの定義に加え、FWBには「現在／将来」と「安心／選択の自由」の2軸で区分される4つの中心的な要素が存在することを発表した(図表2)。4つの要素はそれぞれ、「月々や日々の家計を管理できること」「経済的ショックに対応する能力があること」「人生を楽しむための選択ができる経済的な自由があること」「経済的な目標を達成するための軌道に乗っていること」であり、現在最も代表的なFWBのフレームワークであるといえる。また、CFPB(2017)はこれらの定義や4要素に基づき10項目からなるFWBの尺度を開発しており、当該尺度を用いて米国内のFWBの測定を行っている(図表3)。

【図表2】ファイナンシャル・ウェルビーイングの4つの要素

	現在	将来
安心	月々や日々の家計を管理できること	経済的ショックに対応する能力があること
選択の自由	人生を楽しむための選択ができる経済的な自由があること	経済的な目標を達成するための軌道に乗っていること

(資料) CFPB(2015)より筆者翻訳

⁴ 金融庁(2024)「国民の安定的な資産形成の支援に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針」p.1より引用

【図表3】ファイナンシャル・ウェルビーイングの尺度（10項目）

項目
この文章は、あなたやあなたの状況をどの程度あらわしていますか。
1. 予期せぬ大きな出費に対応できる
2. 経済的な将来は保証されている
3. 自分の経済状況のせいで、人生で欲しいものは手に入らないと感じている *†
4. お金の管理ができていますので、人生を楽しむことができる
5. 私は経済的に何とかやっていけるだけだ *†
6. 貯めているお金やこれから貯めるお金が長続きしないことを心配している *†
以下の文章はどのくらいの頻度であてはまりますか。
7. 結婚式、誕生日、その他の機会に贈り物をすると、その月の家計が圧迫される *
8. 月末にお金が残っている †
9. 家計のやりくりが遅れている
10. 家計が私の生活を支配している †
※CFPB(2017)では、各項目について5段階（1.～6.は「私を完全に表している」～「私をまったく表していない」7.～10.は「いつも」～「まったくない」）のリッカート尺度で計測している。
*：逆コード化されている項目 †：省略版尺度（5項目）で採用されている項目
（資料）CFPB(2017)より筆者翻訳

直近では、Sorgente and Lanz (2019)⁵がイタリアとポルトガルの新成人を対象にFWBの測定に関する研究を行った。結果として、FWBが5つの要素によって構成されていることと、FWBの測定のための25項目からなる尺度（MSFWBS：Multidimensional Subjective Financial Well-being Scale：多次元主観的ファイナンシャル・ウェルビーイング尺度）を主張した（図表4、5）。5つの要素はそれぞれ、「一般的・主観的な経済的幸福度」「金銭の管理」「金銭の所有」「同輩との比較」「経済的な将来」となっており、Sorgente et al. (2024)⁶では8か国（オーストリア、カナダ、フィンランド、イタリア、ポルトガル、ルーマニア、スロベニア、トルコ）の新成人を対象に当該尺度の信頼性を確認している。

【図表4】ファイナンシャル・ウェルビーイングの5つの要素

1. 一般的・主観的な経済的幸福度	自身の経済状況に関する一般的评价（満足度や感情）からなるメタ認知要素
2. 金銭の管理	自身の物質的資源を管理する能力に対する認識からなる行動要素
3. 金銭の所有	自身の物質的資源に関する評価（充足感）を含む物質的要素
4. 同輩との比較	自身の経済状況を周囲の人間と比較する関係的要素
5. 経済的な将来	将来の経済状況に対する期待からなる時間的要素

（資料）Sorgente et al. (2024)より筆者翻訳

⁵ Sorgente, A., & Lanz, M. (2019) "The multidimensional subjective financial well-being scale for emerging adults: Development and validation studies. International Journal of Behavioral Development"

⁶ Sorgente, A., Atay, B., Aubrey, M., Bhatia, S., Crespo, C., Fonseca, G., Güneri, O.Y., Lep, Ž., Lessard, D., Negru-Subtirica, O., Portugal, A., Ranta, M., Relvas, A.P., Singh, N., Sirsch, U., Zupančič, M. & Lanz, M. (2024) "One (Financial Well-Being) Model Fits All? Testing the Multidimensional Subjective Financial Well-Being Scale Across Nine Countries"

【図表5】ファイナンシャル・ウェルビーイングの尺度（25項目）

質問	対応する要素
1. 自分の金銭管理に満足している	金銭の管理
2. 自分の経済状況は、周囲の人たちよりも良い	同輩との比較
3. 自分の情熱を追求するのに十分なお金がある	一般的・主観的な経済的幸福度
4. 自分のお金の使い方に満足している	金銭の管理
5. 必要なお金より少ないお金しか持っていない *	一般的・主観的な経済的幸福度
6. 自分の経済状況に不満はない	一般的・主観的な経済的幸福度
7. 自分の経済状況は友人より悪い *	同輩との比較
8. 自分の生活が経済的にうまくいっていることに満足している	一般的・主観的な経済的幸福度
9. 必要なものを買うのにお金が足りないことがある	金銭の所有
10. 経済的な理由で日々ストレスを感じている *	一般的・主観的な経済的幸福度
11. 近い将来、自分の計画を実行するのに十分なお金が得られると思う	経済的な将来
12. 自分の経済状況は落ち着いている	一般的・主観的な経済的幸福度
13. 自分の経済状況は何とかなると思う	金銭の管理
14. お金がないために、友人と一緒に何かをできないことがある *	金銭の所有
15. 必要なお金は十分にある	一般的・主観的な経済的幸福度
16. 現在の自分の経済状況に満足している	一般的・主観的な経済的幸福度
17. 自分の根気強さによって実現する経済状況にはとても納得できると思う	経済的な将来
18. 周囲の人たちは私よりも自由な時間に使えるお金が多い *	同輩との比較
19. 現在の経済状況に安心できる	一般的・主観的な経済的幸福度
20. 自分がしてきた勉強や仕事によって、満足のいく経済状況を実現できるだろう	経済的な将来
21. 自分の人生を楽しむのに十分なお金がある	一般的・主観的な経済的幸福度
22. 長期的な経済的目標（車を買うなど）を達成するための準備状況に満足している	経済的な将来
23. 必要なものを買うお金がないことがある *	金銭の所有
24. 自分の経済的目標を達成するために正しい道を歩んでいる	経済的な将来
25. 自分の経済状況を管理する方法に満足している	金銭の管理

※Sorgente et al. (2024)では各項目について5段階（「あてはまる」～「あてはまらない」）のリッカート尺度で計測している。

*：逆コード化されている項目

（資料）Sorgente et al. (2024)より筆者翻訳

以上、FWB の測定に関する現時点で代表的な研究を2つ紹介したが、日本においても各金融機関やシンクタンクにおいて（簡易的なものも含め）様々な形でFWB の測定を試みており、今後の精緻化が期待されるところである。

4. まとめ

ここまで、現在のFWBに関する基本的情報を整理した。

繰り返しになるが、FWB の考え方では単に収入や資産・負債の多寡が経済的な幸／不幸を意味するものではない。そうした経済状況を踏まえたうえで、自身の現在・将来が経済的に豊かであると感じられるかどうか重要なのである。したがって、自身にとってのFWB が何か、どのようにすればそれが実現できるかを国民一人ひとりが考え、追求することが必要であり、それによって自身の金融行動が真に正しい（＝自身の思う経済的な豊かさの実現につながる）のかそうでないのか、初めて判断す

ることができる。同時に、裏を返せば、これからの金融機関には、顧客の物質的な経済状況のみならず、FWB を考慮したサービスの提供が求められることになるだろう。

また、現在行われている FWB に関する研究は、当然のことながら FWB の基本的な概念を補強する主旨のものや FWB に対する影響要因を探る視点ものが多い。特に、金融リテラシーと FWB の関係性などは世界的にもしばしば取り上げられるテーマである。しかし、現実の事象として FWB の変化が人々の行動にどう影響するかという視点では、十分に広範な研究が行われているとはいえない。一部、FWB の向上が労働生産性に対して与える影響に関しては積極的に研究が行われているものの、FWB が人々の経済状況に関する極めて基本的な意味をもつ指標である以上、労働のみならず消費や投資の側面にも影響を及ぼすことは十分に予想される。

何が FWB を決定づけるか、FWB が何を決定づけるか、今後の研究の広がりが期待される。

次稿（ファイナンシャル・ウェルビーイング②）では、FWB と金融商品、とりわけ生命保険商品との関係性について考察していきたい。